

足立区産業実態等アンケート

＜商業・サービス業以外の事業者様向け＞

調査ご協力のお願い

- 本調査は、足立区が実施するアンケート調査です。
- 本調査から得られた情報は、足立区の次期「地域経済活性化基本計画」策定のための重要な情報としてのみ活用させていただきます。ご多忙のこととは存じますが、今後の足立区の産業の発展のため、何卒ご協力の程よろしくお願い致します。
- ご記入いただいた調査票は、**同封の返信用封筒**に入れて**4月26日（水）**までに、投函してくださるよう、お願いいたします。

平成29年4月

足立区長 近藤やよい

ご記入にあたってのお願い

- 1 御社の経営実態等を理解されている方がご記入ください。
- 2 ご記入に際しては「平成29年4月1日現在」を基準日としてください。
- 3 回答は、あてはまる番号を選び、その番号を○印で囲んでください。
- 4 「1つだけ」「3つまで」など回答が限られている質問では、御社がもっとも良くあてはまるとお考えになる回答を指定の数以内で選び、○印をつけてください。
- 5 「その他」にあてはまる場合は、お手数ですが（ ）内に、なるべく具体的にその内容をご記入ください。
- 6 すべてのご記入が終わりましたら、記入もれや間違いがないか、ご面倒でももう一度お確かめください。

お問い合わせ先

足立区産業政策課 経済活性化計画調整担当

T E L : 03-3880-5464（平日 午前9:00～午後5:00）

F A X : 03-3880-5605

メール : san-san@city.adachi.tokyo.jp

※支店・営業所等の場合は、可能な範囲で「支店・営業所等におけるデータ等」をご記入ください。

問 1. 御社のことについておたずねします。

(1) 事業所名、所在地等ご記入ください。

(ふりがな) 事業所名		担当部署	
住 所	足立区		
電 話		f a x	

(2) 経営形態 (○は1つだけ)。

1. 単独事業所	3. 支社・支店	5. 工場
2. 本社	4. 営業所	6. その他（ ）

(2-1) [(2)で「2」と回答した方]
支社等の数と主な所在地(括弧内に記入)

	【 数 】	〔 主な所在地 〕
1. 支社・支店⇒	【 】⇒	〔 〕
2. 営業所 ⇒	【 】⇒	〔 〕
3. 工場 ⇒	【 】⇒	〔 〕
4. その他 ⇒	【 】⇒	〔 〕

(2-2) [(2)で「3~6」と回答した方] 本社の場所 (○は1つだけ)

1. 足立区内
2. 都内の別の場所
（市・区・町・村）
3. その他
（ ）

(3) 業種 (○は主なものの1つだけ)。

1. 農業	7. 運輸業
2. 建設業	8. 学術研究
3. 製造業	9. 専門・技術サービス業
4. 電気・ガス・熱供給・水道業	10. その他
5. 情報通信業	(具体的に:)
6. 卸売業	

(4) 所属している団体 (○はいくつでも)。

1. 商工会議所 2. 工業団体 3. 地元商店会 4. 法人会	5. 青色申告会 6. その他関連団体・組合 [
---	--------------------------------

(5) 資本金

万円

(6) 従業者の数（あなた自身も含めて）と雇用形態の内訳（数字をご記入ください）。

従 業 員 数	合計	人	⇒	内 訳	正社員	人
	(うち家族は	人)			(うち女性は	人)
	(うち女性は	人)			パート・アルバイト・派遣	人
					(うち女性は	人)

(7) 昨年度一年間での採用者数（数字をご記入ください）。

採 用 者 数	合計	人	⇒	内 訳	男性	人 (うち新卒は	人)
	(うち新卒は	人)			女性	人 (うち新卒は	人)

(8) 経営者の年代（○は1つだけ） ※実際に経営にたずさわっている人。支店等の場合は店長。

1. 30歳未満	2. 30歳代	3. 40歳代	4. 50歳代	5. 60歳代	6. 70歳代以上
----------	---------	---------	---------	---------	-----------

(9) 後継者について（○は1つだけ）。

1. 事業主の親族を後継者にするつもりである 2. 親族以外の従業員を登用するつもりである 3. 親族等に適当な人がいないため廃業するつもりである 4. 後継者の有無に関らず廃業するつもりである 5. まだ、後継者について考える段階ではない 6. 支店・営業所等のため関係ない 7. その他 ()

(10) 土地、建物の所有形態（○は1つだけ）。

1. 土地、建物自己所有	2. 借地、建物自己所有	3. 借地、借家	4. ビルテナント
--------------	--------------	----------	-----------

(11) [(10)で「1」または「2」と回答した方] 建替えの意向（○は1つだけ）。

1. 建替え等するつもりは無い	5. 将来的には建替えたい
2. 同じ場所に建替えたい	6. 売却したい
3. 違う場所に建替えたい	7. まだ考えていない
4. 工業団地等に入りたい	8. どちらとも言えない・わからない

(11-1) [(11)で「2」～「6」と回答した方] 建替・売却したい理由（○はいくつでも）。

1. 事業拡大等で手狭なため	5. 建築基準法に関わる問題
2. 老朽化が進んでいるため	6. その他 ()
3. 耐震性の問題	7. 特に理由はない
4. 用途地域の変更に伴う問題	

(12) 経営者等の自宅（○は1つだけ）。

1. 事業所と一緒に
2. 別の場所 () 市・区・町・村)

(13) 事業所面積（数字をご記入ください）。

m ²

問 2. 御社の経営状況と取引先についておたずねします。

(1) 昨年度売上高について、該当するものに○をしてください (○は1つだけ)。

1. 売上なし	6. 1 億～ 3 億円未満
2. 1 0 0 0 万円未満	7. 3 億～ 5 億円未満
3. 1 0 0 0 万～ 3 0 0 0 万円未満	8. 5 億～1 0 億円未満
4. 3 0 0 0 万～ 5 0 0 0 万円未満	9. 1 0 億円以上
5. 5 0 0 0 万～ 1 億円未満	

(2) 3 年前と比較して昨年度の売上高の増減について、該当するものに○をしてください (○は1つだけ)。

1. 3 0 %以上増加	6. 1 0 ～2 9 %減少
2. 1 0 ～2 9 %増加	7. 3 0 %以上減少
3. 4 ～9 %増加	8. 分からない
4. 横ばい(－3 ～3 %)	9. 比較できない
5. 4 ～9 %減少	

(3) 3 年前と比較して昨年度の営業利益の増減について、該当するものに○をしてください (○は1つだけ)。

1. 3 0 %以上増加	6. 1 0 ～2 9 %減少
2. 1 0 ～2 9 %増加	7. 3 0 %以上減少
3. 4 ～9 %増加	8. 分からない
4. 横ばい(－3 ～3 %)	9. 比較できない
5. 4 ～9 %減少	

(4) 今後 3 年間を考えたとき、御社の景況はどのように推移してゆくと予想しますか (○は各指標について1つだけ)。

	選択肢
業 況	1. 良くなる 2. やや良くなる 3. 変わらない 4. やや悪くなる 5. 悪くなる
売 上 高	1. 増加する 2. やや増加する 3. 変わらない 4. やや減少する 5. 減少する
営業利益	1. 増加する 2. やや増加する 3. 変わらない 4. やや減少する 5. 減少する

(5) 御社の取引先地域の割合をお書きください (合計が 1 0 0 %になるようご記入ください)。

	地域	金額高の割合[計100%]
A	足立区内	%
B	足立区を除く東京都内	%
C	上記以外の関東圏 (埼玉、千葉、神奈川、栃木、茨城、群馬県)	%
D	上記以外の国内に販売・納入	%
E	海外に販売・納入	%
F	その他 ()	%

問3. 立地環境についておたずねします。

(1) 創業は足立区内ですか (○は1つだけ)。

1. 足立区内で創業	2. 足立区外で創業
------------	------------

(1-1) [(1)で「1」と回答した方] いつ頃から区内に立地していますか (○は1つだけ)。

1. 昭和30年代以前	5. 平成10年～19年
2. 昭和40年代	6. 平成20年以降
3. 昭和50・60年代	7. その他 ()
4. 平成元年～9年	

(2) 足立区の環境や立地するメリットはどのようなものですか (○は3つまで)。

1. 交通の便が良く地理的にも便利	10. グローバルな事業展開が可能
2. 事業所が集積し他社との連携等がしやすい	11. 取引先から近い
3. 企業や人口密集等大規模市場が至近	12. 人件費や地代等が安い
4. 優秀な人材が確保しやすい	13. 行政機関の支援等が充実している
5. 様々な可能性・多様性のある市場構造	14. 重要な情報が入手しやすい
6. 先端的な技術や情報に接する機会が多い	15. 街並みが整備されていて魅力的
7. 足立区立地による企業イメージアップ	16. 自宅等が近い
8. 刺激が多く活力がある	17. その他 ()
9. 資金調達に有利	18. 特にな

(3) 足立区の環境や立地するデメリットはどのようなものですか (○は3つまで)。

1. 建物・施設の賃貸借の費用が高い	12. 顧客の固定化が難しい
2. 人件費が高い	13. 通勤時間が長く、コストも高い
3. 人材が集まらない	14. 地域住民等との接点も少なく地縁性が低い
4. 企業間の連携等がしづらい	15. 地元金融機関からの資金調達が難しい
5. 産業集積が不十分	16. 行政機関の支援等が充実していない
6. 交通環境が悪く事業に支障がある	17. 重要な情報が入手しにくい
7. 環境の変化が激しく、対応が難しい	18. 街並みが整備されてなく魅力に乏しい
8. マーケットが多様化・細分化	19. その他 ()
9. 競争相手が多く、競争が激しい	20. 特にな
10. 顧客・取引先から遠い	
11. 顧客の要望・ニーズが多様で高度	

(4) 御社では区外への事業所移転の可能性はありますか (○は1つだけ)。

1. 可能性はない	3. ある程度具体的に移転を検討している
2. 可能性はあるが具体的に検討していない	4. かなり具体的に検討している

問 4. 採用状況や雇用環境についておたずねします。

(1) 御社の従業員の採用状況はいかがですか (○は1つだけ)。

1. 順調である	3. 余り順調でない	5. 採用していない
2. まあ順調である	4. 順調でない	

(1-1) [(1) で3か4と回答した方] どのような対応を取っていますか (○はいくつでも)。

1. 派遣労働者の受け入れ	5. 業務の見直し
2. アルバイト・パート社員の採用	6. その他 ()
3. 嘱託社員の採用	7. 特に何もしていない
4. 人材採用支援会社等への相談	

(2) 御社の従業員が御社に就職を決めた理由をどのようにお考えですか (○はいくつでも)。

1. 賃金が良いから	7. 経営方針や経営者に共感したから
2. 技術や知識が活かせるから	8. 企業のブランドイメージが良いから
3. 自宅から近いから	9. 仕事と育児や介護、趣味等が両立できるから
4. 通勤に便利だから	10. 家族や知人等に進められたから
5. 転勤がないから	11. その他 ()
6. 長期間働くことができるから	

(3) 御社では、女性の活躍推進のためにどのような対策を講じていますか (○はいくつでも)。

1. キャリアアップ教育	7. 教育、研修の充実
2. 短時間勤務などの勤務時間への配慮	8. 就業環境 (ハード面含む) の改善
3. テレワーク※1の導入	9. 他の従業員の意識啓発
4. イクメン・イクボス※2養成	10. その他 ()
5. 再雇用制度の導入	11. 特に整備していない
6. 業務内容への配慮	

※1 テレワークとは IT 等の情報通信技術を活用することで時間・場所の制約を受けずに柔軟に働くことのできる就労形態のことを意味します。

※2 イクメンとは「子育てに積極的に関わる男性のこと」を、イクボスとは「男性の従業員や部下の育児参加に理解のある経営者や上司のこと」を意味します。

(4) 御社では、高齢者雇用のためにどのような対策を講じていますか (○はいくつでも)。

1. 定年年齢の引き上げを行った	3. 再雇用制度 (定年年齢に達した者をいったん退職させた後、再び雇用する制度) を導入している
2. 勤務延長制度を導入している (定年年齢に達した者を退職させることなく引き続き一定期間雇用)	4. その他 ()
	5. 特に整備していない

(5) 御社では、障がい者雇用のためにどのような対策を講じていますか (○はいくつでも)。

1. 短時間勤務など勤務時間への配慮	7. 職場適応援助者※の活用
2. 通院・服薬管理など医療上の配慮	8. 相談窓口の拡充
3. 教育、研修の充実	9. 各種助成金の活用
4. 就業環境 (ハード面含む) の改善	10. 外部関係機関と連携支援体制の確立
5. OJT (日常の業務につきながら行う職場内訓練)、トライアル雇用 (短期、試行的な雇用) の拡充	11. 他の従業員の意識啓発
6. 業務内容への配慮	12. その他 ()
	13. 特に整備していない

※別名ジョブコーチ、障がい特性を踏まえた直接的で専門的な支援を行う者のこと。

(6) 過去5年間に、新卒・中途を問わず、若年者（35歳未満）を採用した実績がありますか（○は1つだけ）。

1. 採用した（ 名）	2. 採用していない
----------------------------------	------------

(7) 若年者（35歳未満）の採用に関する現在の御社の状況はいかがですか（○は1つだけ）。

1. ニーズに相応しい人材が採用できている	3. 採用ニーズはあるものの、計画したレベルの人材を確保することが難しい
2. 採用ニーズはあるものの、予定人数（計画値）を確保することが難しい	4. その他（ ）

(8) 御社では今後、どのような人材を採用したいと考えますか（○はいくつでも）。

1. 長期間働いてくれる人材	6. 社会人マナーが身に付いている人材
2. 語学スキルが高い人材	7. その他（ ）
3. 専門的な技術を有する人材	8. 特になし
4. 財務・会計に強い人材	
5. 営業力のある人材	

(9) 御社はワーク・ライフ・バランスが進んでいると思いますか（○は1つだけ）。

※ ワーク・ライフ・バランスとは、仕事と生活の調和。様々な状況に応じて多様な働き方や生き方を選択できること。

1. 進んでいる	3. あまり進んでいない
2. ある程度進んでいる	4. 進んでいない

(9-1) [(9)で「3」か「4」と回答した方に] その理由は何ですか（○はいくつでも）。

1. 平均勤続年数が短い	9. 旧態依然の慣習や企業風土
2. スキル・能力不足	10. 長時間労働の慢性化
3. 女性社員の意識が低い	11. 多様な働き方のメニューを用意していない
4. 男性社員の意識が低い	12. 育児・介護支援制度が不十分である
5. 性別役割分業意識が強い	13. 仕事と育児・介護の両立のための個人的な努力が足りない
6. モデルとなる社員がいない	14. その他（具体的 ）
7. 経営陣の意識が低い	
8. 管理職の意識が低い	

(10) ワーク・ライフ・バランスに取り組む上でどのような課題がありますか（○はいくつでも）。

1. 働き方についての社会の意識変化	7. 多様な働き方メニューの充実
2. 男性正社員の仕事と生活スタイルの変化	8. 託児施設の整備など費用負担
3. 会社同士の競争環境の改善	9. 社会保障制度等の充実
4. 会社の経営者等の意識改革	10. 取組み企業に対する各種支援
5. 会社の労働条件の改善	11. その他（ ）
6. 長時間労働の改善	12. 特に思い当たらない

問5. 資金調達等についておたずねします。

(1) 資金調達の際の調達先は、どのような機関ですか (○はいくつでも)。

1. 都市銀行	5. ベンチャーキャピタル
2. 地方銀行	6. クラウドファンディング
3. 信金・信組	7. その他 ()
4. 政府系金融機関	8. 特になし

(2) 主な資金調達先との関係は良好ですか (○は1つだけ)。

1. 良好である	2. まあ良好である	3. あまり良好でない	4. 良好でない
----------	------------	-------------	----------

(3) 制度融資や補助金など、公的機関が提供する資金調達の支援制度を活用されたことがありますか (○は1つだけ)。

1. 活用したことがある	2. 活用したことは無い
--------------	--------------



(4) [(3) で「1」と回答した方] その理由は何ですか (○は1つだけ)。

1. 金利が低い	3. 金融機関に勧められた
2. 借入しやすい	4. 特に理由は無い

(5) [(3) で「2」と回答した方] その理由は何ですか (○は1つだけ)。

1. 制度を知らなかった	3. 保証料が高い	5. 特に理由は無い
2. 手続きが煩雑	4. 金融機関に断られた	

問6. 事業活動における課題と方向性等についておたずねします。

(1) 現在、経営上抱えている課題はどのようなことですか(○は5つまで)。

1. 一般従業員の確保	15. 運転資金の確保
2. 特定専門技術を有する人材不足	16. 借入金の返済に苦慮
3. 人材育成に関する組織的制度が無い	17. 投資家との出会いの場不足
4. 総費用に占める人件費割合の上昇	18. 金融機関と十分な交渉ができない
5. 後継者の確保	19. 事業所等の新設・拡張・改築できない
6. 従業員の高齢化	20. 駐車場が確保できない
7. 受注量・取引量・売上高の減少	21. 地価、地代、賃料が高い
8. 競合他社等との競争環境の激化	22. 住宅開発等により事業継続が困難
9. 高度化する顧客対応への十分な対応	23. 大規模開発による周辺環境の変化
10. 顧客ニーズがつかめない	24. 技術・市場動向等に対する情報不足
11. 顧客や取引先に生じた変化の影響	25. 産業支援施策や制度に関する情報不足
12. 為替の影響	26. 困ったときの相談相手不足/方法不明
13. 新規事業のための資金調達	27. その他 ()
14. 原材料高騰による原価率の上昇	28. 特にない

(2) 今後5年程度を展望して重点的に取組みたいと考えていることは何ですか(○は5つまで)。

1. 従業員の確保・育成	16. 取引先企業との協力・連携の推進
2. 経営幹部人材の確保・育成	17. 他企業との協力・連携の推進
3. 専門人材の確保・育成	18. 新製品・新技術の開発
4. 後継者の育成	19. 情報化等推進による業務の合理化等
5. 従業員の雇用環境の整備	20. 規模縮小や業務等のリストラ
6. 施設や設備のリニューアル	21. 品質・接客技術等の向上
7. 事業所等の規模拡大	22. 知的財産対策
8. 事業所等の移転	23. 大学等研究開発機関との連携
9. 販路開拓・拡大	24. 地域貢献や社会貢献
10. グローバル化への対応	25. 現状維持
11. 新分野・新事業への進出	26. 業種転換
12. 既存製品の高付加価値化	27. 廃業・休業
13. 自社ブランドの育成・強化	28. その他 ()
14. 製品・サービスの多様化	29. 特にない
15. 製品・サービスの専門化	

問 7. 個別の事業課題についておたずねします。

(1) 下記の各事業課題について、それぞれ現在の取組経験(1)-1、今後の取組意向(1)-2をお答えください。

	(1)-1 現在の取組経験			(1)-2 今後の取組意向		
	している	していない		高い	普通	高くない
例) 事業課題等	①	2	→	1	②	3
1) ICTを活用した販路開拓	1	2	→	1	2	3
2) ICTを活用した業務改善・改革	1	2	→	1	2	3
3) ICTを活用した宣伝PR	1	2	→	1	2	3
4) 産学連携による研究開発	1	2	→	1	2	3
5) 産学連携による事業化推進	1	2	→	1	2	3
6) 観光関連事業・ビジネスの推進	1	2	→	1	2	3
7) 地域資源を活用した事業・ビジネス展開	1	2	→	1	2	3
8) 地域内の同業種企業による連携	1	2	→	1	2	3
9) 地域内外の異業種企業による連携	1	2	→	1	2	3
10) 若手従業員向け人材育成・能力開発	1	2	→	1	2	3
11) 中堅従業員向け人材育成・能力開発	1	2	→	1	2	3
12) 環境・エネルギー分野の事業推進	1	2	→	1	2	3
13) 事業承継の推進	1	2	→	1	2	3
14) 知的財産の創造・保護・活用	1	2	→	1	2	3
15) 製品等のデザイン力の向上	1	2	→	1	2	3
16) ロボット、IoT、AIの活用	1	2	→	1	2	3

※「IoT」とは、モノのインターネット（Internet of Things）の略語で、様々な「モノ（物）」が相互にインターネットに接続されること（モノがインターネットのように繋がる）の仕組みを、「AI」とは、人工的にコンピュータ上で人間と同様の知能を実現させようという一連の基礎技術を指します。

(2) 『今後の取組意向』が高い事業課題について、どのような取組みを予定していますか。自由にお書きください。

(取組意向の高い事業課題)	(左記「事業課題」に対する取組の具体的な内容)
・ ・ ・	

(3) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催により、御社の売上に影響があると考えていますか(○は各項ひとつ)。

期間	選択肢			
現在から2020年まで (開催までの期間)	1. 増加する	2. 変化しない	3. 減少する	4. わからない
2020年(開催期間中)	1. 増加する	2. 変化しない	3. 減少する	4. わからない
2021年から2023年まで (開催後3年間)	1. 増加する	2. 変化しない	3. 減少する	4. わからない

(4) 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けて、御社ではどのような取り組みをすることを考えていますか(○は3つまで)。

1. 施設・設備の強化	7. 従業員の外国語教育
2. 従業員数の増加	8. 従業員のオリンピック・ボランティア参加支援
3. 販路開拓・拡大	9. その他()
4. 海外展開の強化	10. 特に何もしない
5. 新分野・新事業への進出	
6. 新製品・新技術の開発	

(5) 今後、区等に対してどのような支援を望みますか(○は3つまで)。

1. 人材育成支援	10. IT関連の支援
2. 雇用促進	11. 事業スペース対策
3. 大学や行政等との交流・連携支援	12. 宣伝PR支援
4. 技術・製品開発支援	13. ワーク・ライフ・バランス推進支援
5. 市場開拓・マーケティング支援	14. 企業誘致の促進
6. 融資等資金対策	15. 海外展開の支援
7. 経営相談	16. その他()
8. 創業支援	17. 特にない
9. 従業員の福利厚生支援	

(6) 現在、区や東京都などでは企業・事業者向けセミナーの実施や経営に関する補助等、様々な施策を講じています。これらの施策について、現在どのような媒体を通じて情報を取得していますか(○はいくつでも)。

1. あだち広報	9. 足立区の産業支援ハンドブック
2. 公社ニュースときめき	10. 足立区の訪問相談員(マッチングクリエイター)
3. 足立区公式ホームページ	11. 知り合いからの口コミ
4. 足立区公式ツイッターやフェイスブック	12. 企業間のSNS
5. 都や国のホームページ	13. その他()
6. 公的機関のメールマガジン	14. 特にない
7. 金融機関からの案内	
8. チラシ、ポスターなど	

(7) 今後、区が実施する各種施策について、どのような媒体による情報発信を希望しますか (○は3つまで)。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. あだち広報 | 7. 足立区の産業支援ハンドブック |
| 2. 公社ニュースときめき | 8. 郵送によるダイレクトメール |
| 3. 足立区公式ホームページ | 9. 季刊の産業情報誌 |
| 4. 足立区公式ツイッターやフェイスブック | 10. その他 () |
| 5. 区が発行するメールマガジン | 11. 特にない |
| 6. スマートフォンによる産業情報アプリ | |

問8. 足立区の産業施策等に対するご意見をお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。